

## 鉢物栽培 II

|     |       |       |   |
|-----|-------|-------|---|
| 講師名 | 千葉 賢一 | 実務経験等 | 農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、生理・生態の理解に基づく鉢物生産技術について講義を担当する。 |
|-----|-------|-------|---|

| 科目区分        | 学科・経営科  | 必修・選択<br>(必修、自由)区分 | 履修学年 | 開講学期 | 標準時間 | 単位数 |
|-------------|---|--------------------|------|------|------|-----|
| 農産園芸学科・専門科目 | 農産園芸・花き   | 必修                 | 2    | 通年   | 60   | 4   |
| 使用教科書・副教材   | 農学基礎セミナー 草花栽培の基礎 横口春三(農文協)<br>令和2年度花き栽培技術指針(岩手県)    |                    |      |      |      |     |
| 授業の目的       | 講義や事例研究を通じて、岩手県の主要な鉢物品目について生理・生態を理解し、基礎的な生産技術を習得する。 |                    |      |      |      |     |
| 授業の到達目標     | 岩手県の主要な鉢物品目の生理・生態を理解し、基礎的な生産技術を習得する。                |                    |      |      |      |     |

| 月日    | 学習項目        | 学習事項  | 時間 | 授業形式 | 備考<br>(提出物等) |
|-------|-------------|---|----|------|--------------|
| 4~5月  | 育苗技術        | 主要品目の育苗技術及びセル成型育苗技術について学習する。  | 4  | 講義   |              |
| 5~6月  | 栽培管理技術(春季)  | 主要品目の培土作製、施肥設計等について学習する。<br>主要品目の鉢上げ～初期栽培管理技術について学習する。<br>鉢物生産における植物成長調整剤の利用技術を学び、その原理(生理・生態)を理解する。 | 8  | 講義   |              |
| 6月    | 岩手県内の鉢物経営事例 | 岩手県において、鉢物生産の優良経営事例を学ぶ。   | 8  | 事例研究 | レポート         |
| 6~7月  | 病害虫防除技術     | 主要病害虫の診断と防除技術を学習する。   | 4  | 講義   |              |
| 8~9月  | 栽培管理技術(夏季)  | 主要品目の夏季管理(高温対策等)技術を学び、その原理(生理・生態)を理解する。<br>主要品目の施肥管理技術を学習する。  | 6  | 講義   |              |
| 9~11月 | 栽培管理技術(秋冬季) | 主要品目の出荷規格及び選別・調製技術を学習する。  | 6  | 講義   |              |
| 11月   | 鉢物の流通・販売    | 鉢物業界ではトップの豊明花き(株)において、鉢物の流通・販売の実際と特徴を学ぶ。  | 16 | 事例研究 | レポート         |
| 1月    | 岩手県の鉢物生産の特徴 | 岩手県の鉢物生産の技術的・経営的特徴を学習する。  | 4  | 講義   |              |
| 1月    | 種苗法概要       | 種苗法の基礎的内容を学習する。   | 4  | 講義   |              |
|       |             | 合計  | 60 | 時間   |              |

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

前期と後期に筆記試験を実施し、以下により評価する。

筆記試験:60%

平常点:40%(出席状況、受講態度、提出物、小テスト)

履修に当たっての留意点等

作物の生育状況や天候等により、学習項目の変更や専攻実習と入れ替わる場合があること。